

広報 ごじょうめ

発行 五城目町役場 ☎0188 52 2100 (代)
秋田県五城目町上樋口字向川原
☎018-17 12ブロック2ロット
編集 文書広報課
印刷 湖東印刷所 ☎0188 52 2430
毎月1日・15日発行 一部 35円



会場では参加者に黄な粉をつけたモチが配られた

親子で冬を楽しむ

子どもの雪まつり

二千五百人が参加

第六回子どもの雪まつりは、二月二十日午前十時から、恋地国設スキー場を会場にして開かれました。当日は時おりふぶくあいにくの天気でしたが、参加した子どもたちや父兄は、二千五百人を数えました。町で用意した五台のバスは、行き帰りとも満員で、乗れない人がでるほどでした。また、自家用車で訪れた人も多く、自家用車は四百五十台を超え、駐車場に入りきれなくなり、道路も駐車場になりました。

自衛隊のみなさんも協力

毎年、この雪まつりには学校、町内会、子ども会育成会、民生児童委員協議会などの人たちが、協力してくれています。今回は、秋田陸上自衛隊のみなさん三十人も応援にかけつけてくれました。隊員のみなさんは、プラスチック演奏で会場の雰囲気盛り上げたり、また、昼食には温かい豚汁をふるまうなど、参加した人たちにたいへん喜ばれました。豚汁は二千人分、野営用のトレーラーで調理されました。

今年は雪が少なく、雪上車乗りは中止になり、子どもたちをガッカリさせました。しかし、馬そりは二台用意され、そのまわりは順番を待つ子どもたちでいっぱいでした。

子どもと遊ぶよい機会

小さい子どもの場合は、保護者といっしょにという町からの呼びかけもあって、家族で参加した人たちが目立ちました。子どもたちはお父さんからスキーを教えてもらったり、いっしょにソリ遊びをしたりして楽しんでいました。

今の父親は三十年くらい前からみると優しくなり、また、子どもとよく遊ぶようになりました。しかし、母親に比べると、子どもに接する機会が少ないのは事実です。ですから父と子の接触は量よりも質が大切といわれています。また、親と子の自然な対話は「さあ、これから対話しよう」といって始まるものではありません。このような意味で、子どもの雪まつりは、父と子が体で語り合うよい機会になったようでした。

登録したい人は届け出を

働けるうちは働こう老人人材銀行

シルバーク

一昨年八月に発足したシルバークバンク事業は、六十歳以上の人で健康で、しかも「働けるうちは働こう」という意欲のある人に適当な仕事をしたいいただき、生きがいと健康増進に役立ててもらおうという制度です。

ちなみに昨年四月から今年二月末までの十一ヶ月間に移動した職種別人数をみると、草取り百九十二人、清掃五十八人、家具五十三人、大工四十八人、雪囲い四十三人、整地三十二人、花苗植え三十二人、薪切り十三人、畑作業十一人、留守番七人など合計五百五十二人となっています。

現在、同バンクに登録している人は九十八人ですが、今年あらたに六十歳になった人でシルバークの主旨に賛同し登録したい人は、町内・部落の老人クラブ会長または同バンク事務所へご連絡ください。

観光写真コンクール

今から準備してください

町では、町内の観光資源を広く町外まで紹介するため、毎年開催される産業文化祭で、町内の観光資源を題材にした写真コンクールを行います。

町の観光地、または観光行事など四季折々の写真を出品できるように、今から準備しておいてください。

募集内容は次のとおりですが、不明な点は役場商工観光課（電話2100）におたずねください。

▽募集作品

カラー写真（キャビネ版）

春夏秋冬4枚1組

一人でも何組でも応募できます。また、カラースライド（35ミリ以上）作品も受け付けます。入賞作品の著作権は主催者

業要請者から要請があれば、作業する人が持参します。

シルバークに登録して作業に従事する人と作業要請者との間には雇用関係はなく、シルバーク事務所が責任をもつことになっています。

作業に従事した人に支払う謝礼金は月の上、下旬の二回に分けて支払います。従って作業要請者からも同様にお支払いしていただくことになっています。

謝礼金は、四時間で次のとおりです。

- ▽大工 二、四〇〇円
- ▽家具、建具 二、二〇〇円
- ▽整地 一、八〇〇円
- ▽一般事務助手 一、六〇〇円
- ▽草取り、清掃、留守番等 一、五〇〇円

なお、このほかの特殊技術の職種については、その都度決定されます。

シルバークでは、今後ますます高齢化社会が進むことを考え、老人の働く場の拡大をめざしています。

のものとなります。

▽応募方法

写真の裏には次の事項を記載してください。

- ①住所 ②氏名 ③年齢
- ④職業 ⑤題 ⑥撮影場所

▽賞

- 特選 1点 入選 3点 佳作 5点
- ▽作品の送り先 役場商工観光課
- ▽締切 10月25日

町内のみなさんのご理解とご協力をお願いいたします。

作業要請の申し込み、または登録したい方は五城目町役場の社会福祉協議会シルバーク係へご連絡ください。（電話2100）

家畜の衛生

中央家畜保健衛生所

冬場にかかりやすい家畜の病気が多いので、空気が汚れ、湿度の高い状態となりがちです。

畜舎環境が悪いという理由の病気を誘発したり、発育不良など生産性低下の原因となりますので、換気、乾燥、採光等に十分注意することが大切です。

冬場にかかりやすい病気としては、牛では、伝染性鼻気管炎（IBR）、肺炎、子牛の下痢、皮膚炎などがあげられます。今の時期には、アカバネ病の予防注射をしていない牛に、奇形の子牛が生まれることがありますので、その場合には役場（農協）へお知らせください。

豚では、流行性肺炎（SEP）、萎縮性鼻炎（AR）、伝染性胃腸炎（TGE）、鶏では、マイコプラズマ感染症、伝染性コリーザなどの呼吸器が多くなります。

これらの病気の中には、ワクチンの接種により防げるものもあるもので、環境改善と予防接種、消毒の徹底とともに健康管理に十分留意してください。

五城目軍需の草創と変遷

石井金之助

五城目軍需の年譜

(6)

十一月十三日、秋田県五城目陸軍木工有限会社代表社員和田喜代吉の招集で臨時総会を開き、戦局が苛烈になるに従い、弾薬箱の割当も多く、代金も支払が延びて、このままの経営の仕方では足並がそろわず成果があらぬと和田代表社員の提案で、和田、渡辺、原田、泉谷の四名が脱退した。

二月二十三日、秋田県家具具製造販売統制組合創立、南秋田会長和田喜代吉、七月十四日、米軍のグラマン艦載機が来襲し大川の鉄橋を爆撃した。

八月十日、また再び来襲し、住民に銃撃を加えた。このころ、岩手県釜石への敵の艦砲射撃の音がきこえた。

八月十四日夜には土崎が敵B29の大空襲をうけ、日石製油所は破壊された。

八月十五日、無条件降伏。秋田県陸軍統制工業統制組合並に警察署の指示により、秋田県五城目陸軍木工有限会社では軍需関係書類を焼却し、軍需素箱を処分した。

九月には本県に米軍千三百名余り進駐し、本町にも査察に数回来た。また進駐軍用家具を組合で受注し、秋田県海外課を通して進駐軍に納めた。

南秋家具具協同組合設立、組合長長谷川小四郎、副組合長諸橋一義、役員永井秀之助、石井金之助、原田鉦一、泉谷時治、樋口義三郎、間杉民治、淀谷富五郎。

十一月、秋田県家具具振興特産工芸展、優秀賞石井金之助。

十一月、移住向和洋家具具展示会一等賞石井金之助。このころインフレ天上知らずとなり、復興資材の木材業伸びる。この年、米一升ヤミ値百三十円。（東京は二百円）

ねんきん通信

保険料は忘れずに納付しましょう



年金問題を考える (1)

最近、年金に対する関心が高まってきた。国民年金創設当時、年金制度反対などという運動もあったことを思うと隔世の感があります。それだけ年金制度が充実して、信頼されるようになったということだと思います。

中で不幸な事故にあうといった、個人の力では事前に十分な準備をしておくことができない事態になつた時、社会全体の力で生活の安定を図っていくという制度ですから、国民全体で育てていってやらなければなりません。特に若い人たちにもっともつと関心を持つてもらいたいと思います。

年金制度というのは、老いて収入が無くなる、あるいは人生の途

きたことに伴い、今後、大勢の高齢者が長い老後をいかに豊かに、健康やかに生きてゆくかということは個人個人にとっても、わが国全体にとっても大変重大な問題で、これは社会全体で解決すべき問題です。年金制度は、そんな人間が生ま

す。また、子どもの世話になるということも扶養意識が変化してきているし、子どもの方も親孝行はしたいが、現実にはその余裕もないということ、結局頼るのは公的年金しかないということではないでしょうか。

正しい目立てのポイントは、チェンソーをしっかりと固定しないことが最大の原因です。

「アサリ」は、手ノコでいえば刃先が一定の間隔でひろがっているアキ幅のことで、ノコが切れる秘密の一つがここにありま

引越しの時 手続 転出・転入届を お忘れなく

春の引越シーズンを迎え、目の回るような忙しさに追われて引越す方も多いことでしょう。

適切な住民サービスを受けるためにも、届けは必ず出しましょう。

【住民基本台帳への記載】

住民基本台帳への記載や消滅等は、転出・転入届を出すことによつて行われます。

選挙人名簿の登録、住民税の賦課徴収、国民健康保険、国民年金その他、住民に関する事務処理の基礎となります。

そのほか、引越の際には、次のような届けが必要で

「その他の届け出」

そのほか、郵便局に住所変更届を出しておく、転出先に郵便物を転送してもら

町村役場で転出証明書をもります。転入届は、引越した日から十四日以内に転出先の役場に提出してください。

住民基本台帳は、住所、世帯等

住民基本台帳は、住所、世帯等

住民基本台帳は、住所、世帯等

正しくない刃の形

カギ型

これでは、切っているのではなく「ヒックク」「カキムシル」ことになり、エンジンにも無理がかかり、いろいろな故障の原因になります。

バック型

これではすべて金く切れません。

上刃が丸い

上刃が丸くなっているものは切れ味が良くありません。

木を切るとき、抵抗が少なく、軽く楽に切るためには、「刃の高さ」と「アサリ」がそろっていることが大切です。

長さの違うことは、高さもアサリも変わることになり、ノコの三つのポイントを無視していること

スポーツコーナー



水泳 バツチテスト合格者

2月13日 温水プール

・1級	伊藤 勝利(富小)
伊藤 忠(〃)	
小玉 卓之(五小)	
山県 稔(能代)	
佐藤 巧(二ツ井)	
守田真美子(五小)	
伊藤 清(黒土)	
伊藤麻美子(井川)	
若松 好典(飯田川)	
大和 巖(能代)	
小林 堅蔵(二ツ井)	
山田 康広(〃)	
伊藤 一司(富小)	
伊藤 清隆(〃)	
小玉 努(〃)	
伊藤 真理(〃)	
伊藤 仁未(〃)	
伊藤 綾子(〃)	
伊藤 誠晃(〃)	
伊藤 晋(〃)	
小玉 成孝(〃)	
伊藤 守(五小)	
高堂 尚子(〃)	
坂井 三香(〃)	
石井 剛(〃)	
加賀谷広美(〃)	
村上 芳子(〃)	
栗山直生子(〃)	
大石 直人(〃)	
佐藤 篤(〃)	

・2級

・1級

・4級

・5級

・6級

畠山 徹(富小)	伊藤 建(〃)	伊藤 史子(〃)	土橋亮一郎(八郎湯)	石井 雅樹(五小)	加藤由深子(〃)	沢田石るり子(〃)	栗山 健(〃)	池田真理子(〃)	石井由紀也(大湯)	山口 涼(五小)	伊藤 学(〃)	榊 恵子(〃)	小玉 勇治(〃)	菅生 公洋(大湯)	石井 和史(八郎湯)	石井 俊(五小)	近藤 八雲(〃)	小熊ちえこ(大川)	石川 亮一(馬小)	大石 仁(五小)	茂木 圭介(〃)	畠山 幸生(〃)	石川 幸司(馬小)	小玉しげみち(大川小)	小玉 義幸(〃)	佐藤 尚(五小)	北嶋 公樹(井川)
----------	---------	----------	------------	-----------	----------	-----------	---------	----------	-----------	----------	---------	---------	----------	-----------	------------	----------	----------	-----------	-----------	----------	----------	----------	-----------	-------------	----------	----------	-----------

第10回 南秋スキー大会

2月20日 恋地国設スキー場

- ▽団体の部
- ①五城目町スキークラブ
 - ②八郎湯町スキークラブ
 - ③大湯村スキークラブ
- ▽個人の部

操作技術講習会合格者

16ミリ映写機

(町内関係分)

- 小玉喜美雄 沢田石義一 一関 薫
加藤 勲 石井勝蔵 館岡和子
斉藤耕之助 斉藤正明 小熊興子
松橋テル子 嶋崎峯子 一関新一
阿部 京子 菊地耕二 小玉貞男
目黒 洋 菅原広信 廣嶋 司
加藤 巖 藤田孝子 館岡幸雄

川をきれいに!!

「川」を捨てるのはめましよう



五城目町

カメラレポート

受講生に終了証書

8日に健康大学の閉講式



会場で「だまこもち」のパック詰めを即売

だまこもちを紹介

東京での県物産展に出品

五城目町の名物料理「だまこもち」が、東京・東急百貨店東横店で一月二十一日から六日間開催された第三回秋田県大物産展に出品され、秋田の郷土料理として人気を集めました。

出品したのは仲町で仕出料理店「都」を経営している小森さんで、従業員の方たちを含め五人が上京しました。だまこもちは現地で調理され、パック詰めの際と立食の売店を開いて、会場を訪れた人たちに紹介されました。

小森さんは「赤字覚悟で出品しましたので、ササニシキの上質米とセリは五城目町から持ち込んで調理しました」と話していました。また、同会場では、五城目工芸(黒土)の工芸品も展示されました。

町が毎年開設している健康大学は、三月八日、最後の講座を開いた後、閉講式を行い、受講生七十人に終了証書が贈られることになっています。

最後の講座は、成人病予防についてで、男鹿市・南秋田郡医師会の会長を務めている畑沢実先生が担当することになっています。

今まで開かれた講座と担当の先生は次のとおりです(敬称略)

▽疾病予防講座
林 茂樹(湖東総合病院院長)

▽栄養改善講座・栄養学講座
坂谷 晃(栄養士)

▽母子衛生講座
蒔田 光郎(湖東総合病院副院長)

▽歯科衛生講座
安東 誠(男鹿市・南秋田郡歯科医師会会長)



疾病予防について講義する林院長

広報文芸



昭和57年度

五城目町選抜文学作品(俳句)

▽入 選

「手花火」

伊藤芳穂(町村)

手花火にふと童心の刻を得し
薫風や方言溢れ土工バス
昂ぶりの暫し残りて踊り果つ
夏めくや物干し充たす子等のもの
娘の声が受話機に跳ねて春隣

「岩館泊」

猿田天鳴(樋口)

潮垂れし日焼けの笑みの八重歯かな
海照りへ鳥一線もひきえずに
夕焼けの炎え沈金の渾かな
磯暮れて手花火礁を巨きくす
いか船や潮の裏より帰るくる

▽佳 作

「竿灯」

佐藤羊村(小倉)

夢のせて子らの風船爽やかに
膝もとに観る竿灯の豪華なる
竿灯の傾き群衆どよめきぬ
竿灯の二つせりあえ固唾のむ
竿灯終え山ふところの闇深む

「秋思」

石井進(町村)

旅の宿女の秋思かぎりなく
子の傘に母の肩触るる入学日
衣更人それぞれに想いあり
あら波の時に三日月捲きもしつ
打つ釘のひびく女手秋の家

「砂時計」

沢田石和子(湯ノ又)

空梅雨やさらさらと砂時計
たたずめば水蜘蛛水に輪を描く
散策の列を外せば落し文
金糸梅満開となり牛産る
画仙紙を選る裏表初嵐

◎俳句部門作品評

選者 金 三路

五城目町は文芸活動が盛んであり、俳句人口も豊富な地域である。
私もこれまで数回、文学祭作品についての選考を引き受けた記憶がある。
作品集を手にして十三編とは期待していたより少ないように思われた。然し応募者の数より作品の質が大事であることは、論を俟(まつ)までもないであろう。
この点、主催者から指示された入選二編と佳作三編は、容易に選出することが出来た。このことは、この集のレベルを確認されるものである。
選考方法は五句の総合的評価であるから、当然、玉石混じりではかなわぬことで、精選された玉の粒でなければならぬ。
選考者としては、この種の句数は一編十句が最少の数と思うが、如何がであらうか。
さて、入選の「手花火」は、「薫風や方言溢れ土工バス」の力感と着実に、労働者の姿が季節感と巧みに溶け合って、快い描写を果している。土工バスなどという、ともすれば暗さに落ち込み易いが、これは作者の人の柄の表出したものであろう。「手花火」の句の「夏めくや」にもそれが明色に見える。
同じく入選の「岩館泊」の作では、「磯暮れて手花火礁を巨きくす」の作者の感性が対象に食い入るような迫力を見せる。「いか船や潮の裏より帰るくる」にも、この作者の視線のなみなみならぬものを感じとられる。
佳作「砂時計」では、「空梅雨やさらさらさら」と砂時計の副詞が巧みに、砂時計の感触を据えて空梅雨の効果音を表現している。
同じく佳作「竿灯」の作は、「竿灯終え山ふところの闇深む」が賑やかさが果てたあとの虚をとらえて、作者の思いがこめられている。
佳作「秋思」では「旅の宿女の秋思かぎりなく」に、女人の内面的、情の調べが、にじみ出ている。(原文どおり)



役場正庁で行われた本会議

正庁を議場に青年議会

三議員が代表質問を行う

町内の青年たちが議会形式で政治学習する第十六回五城目町青年議会は、二月六日午前九時から、役場正庁を議場にして行われました。

青年議会議員は、青年会と農業近代化ゼミナールから選ばれた二十四人で、町当局からは町長、助役をはじめ各部課長などが出席しました。

本会議では、町長の施政説明の後、畑沢正男さん、田中洋一さん、石川友子さんが代表質問を行い、森林資料館や図書館の充実、高齢化社会への対応などについて、町当局の意見を求めました。

最後に、明るく住みよい活力ある町づくりに努めることや、ゴミ焼却場建設の早期完成など、七項目の要望が決議されました。

お母さんのための 中学生のしつけ方12章

第6章

異性への関心を正常に伸ばすには



「パーマをかけたがる」「髪を伸ばし、ぜったいに切らないという」「ツメを染めたり、伸ばしたりする」これらの徴候は、いずれも異性への関心が花開いた証拠です。そのこと自体は、子どもの心身の発達を示しています。きわめて自然な表われです。したがって、わ

が子が異性に関心を示し出したからと逆上したり、悲しんだり、あるいは疑いの目で見たりは、思い過ごしというものでしょう。そうかといって、中学生がパーマをかける、長髪にする、ツメを染めるというのは、背のびがすぎます。こういう場合にどう対処すべきでしょうか。第一に、パーマやマニキュア、長髪などは、学則に反していること。第二にそれらは学業に何ら必要とされないものであること。以上のことを当の子どもにはっきりさせること。そして第三に、問題解決は、「パーマをかけているから」悪いと決めつけることなく「なぜパーマをかけるのか」をさぐってやることにあります。

6